

改善報告書

令和2年7月15日

1. 大学名：徳島文理大学

2. 認証評価実施年度：平成29年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○人間生活学部人間生活学科、メディアデザイン学科、音楽学部音楽学科、保健福祉学部人間福祉学科、文学部英語英米文化学科、文化財学科、理工学部ナノ物質工学科の収容定員充足率が0.7倍未満であるため、入学生確保のための改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

平成29(2017)年度の上記7学科の収容定員充足率は、それぞれ人間生活学科が59.3%、メディアデザイン学科が46.6%、音楽学科が35.8%、人間福祉学科が61.2%、英語英米文化学科が35.3%、文化財学科が41.3%、ナノ物質工学科が63.7%であった。この結果を踏まえ、大学全体では入試制度の改革及び学生募集活動の強化に努めるほか、各学科においては入学者増を図るため、以下の取り組みを行った。

① 入試制度の改革

令和2(2020)年度入試において、特別推薦入試を新設するとともに従来の推薦入試についても拡充を図った。

特別推薦入試は「スポーツ・文化活動推薦」「専門学科・総合学科推薦」「資格取得者推薦」の3分野からなるもので、内容的に現行のAO入試と重なる部分は多いものの、本学のアドミッションポリシーに照らし、求める学生像を明確に示したことで志願者増を企図したものである。特に「専門学科・総合学科推薦」は同学科の卒業見込み生徒を対象とし、スペシャリストとして身につけた知識や技能に期待するというメッセージを強く発信することができた。

また、従来の推薦入試の拡充については、指定校制推薦入試にⅡ期を新設し、12月という時期に進路について再考を始めた受験生を獲得することを目指した。さらに、同じく12月実施の公募制推薦入試Ⅱ期についても実施学部を拡大し、全学部全学科で取り組むことにした。

このように、志願者増に向けて可能な限り入試の間口を広げるとともに、時期によって変化する受験生の意識をきめ細かく分析し、彼らのニーズに最大限応える入試となるように改革を行った【資料2-1-01】。

文科省の予告(平成29(2017)年7月)にもあるように令和3(2021)年度入試は全国的に大きく変わることが予想され、本学も例外ではない。このたびの本学入試改革の試みを十分検証し、新しい入試(令和3(2021)年度入試)制度のもとで生かしていく。

② 定員充足を目的とした学生募集活動の強化

平成 30(2018)年度から学長が年度初めに各学科長と個別にヒアリングを行い、入学生の確保に向け危機感をもって実効性のある取り組みを進めるよう指示を出してきた。また、学生募集については、入学生を確保するため広報担当者会議で広報活動の推進計画を立て、それに基づき進学説明会・相談会及び高校訪問を精力的に実施した【資料 2-1-02～資料 2-1-04】。併せて、オープンキャンパスを開催し各学科の魅力や長所を効果的に高校生・保護者に訴求し、入学生の確保に繋げていくよう努めた【資料 2-1-05】。

③ 改善結果

文化財学科では、令和元(2019)年度と令和 2(2020)年度の入学者数において、2年続けて定員を確保することができた。メディアデザイン学科は定員確保には至っていないものの、入学者数を増やし収容定員充足率 70%を達成した。他の 5 学科においては引き続き入学生の確保に努める【資料 2-1-06】。

④ 各学科における取り組み

〈人間生活学部人間生活学科〉

人間生活学科については、カリキュラムの改正に着手した。その結果、他学部・他学科との連携を強化することによる新取得資格の導入など、教育内容の充実を図ることができた【資料 2-1-09】。新カリキュラム広報のため、全指定校へ内容説明のための資料を配布した【資料 2-1-10】。学生募集についてはホームページによる情報発信や出張講義などを通じて引き続き真摯に取り組む。その他、以下の取り組みを行っている。

- ・教員と学生の合同企画による Instagram を利用した情報発信【資料 2-1-11】
- ・高大連携事業：鹿革の有効活用に関する出前授業【資料 2-1-12】

〈人間生活学部メディアデザイン学科〉

メディアデザイン学科については、以下のような取り組みを行うなかで学科の PR 活動を積極的に推進し、志願者数並びに入学者数増を目指してきた。その結果、在籍者数を増やすことができ、令和 2(2020)年度においては、収容定員充足率 70%を達成することができた。

- ・高大連携：みなと高等学園との連携「徳島県 Special プロジェクト 2020」【資料 2-1-13】
- ・総合大学である強みを生かした他学部他学科との相互連携【資料 2-1-14】

〈音楽学部音楽学科〉

音楽学科については、定期演奏会や徳島音楽コンクール等各種行事の開催、県内高等学校の定期演奏会の開催に国内有数の音楽施設である「むらさきホール」の使用提供による地域の音楽文化の向上、教員による高校への出張講義等を通じた地域連携の緊密化などの取り組みにより、学生募集に真摯に努力している【資料 2-1-07・資料

2-1-15・資料 2-1-16】。今後とも高校における演奏活動の支援協力等を通じて、堅実な学生募集を行うことで課題を克服していく。

- ・芸術科(音楽)を設置している徳島県立名西高等学校及び、音楽科を設置している高知県立丸の内高等学校との連携に関する協定書の締結【資料 2-1-17】
- ・高等学校における高校生向けプレゼンテーションとワークショップ【資料 2-1-18】
- ・高校生のための公開セミナー2019 への参画【資料 2-1-08】
- ・ホームページやSNSを利用した情報発信【資料 2-1-19・資料 2-1-20】
- ・令和2(2020)年度の学生募集に向けた「電子楽器コース」から「音楽クリエイター &アーティストコース」へのコース名変更及び広報活動【資料 2-1-21】

〈保健福祉学部人間福祉学科〉

人間福祉学科では、入学定員充足に向けて令和元(2019)年度に定員数を40名から30名に減じた。今後も学生募集活動の強化策を継続して改善に向けて取り組んでいく。さらに、入試広報部・地域連携センターとも連携し、以下の取り組みを通じて学科の特色や就職実績等を説明するなど、魅力発信に取り組んでいく。

- ・進学説明会(計4ブロック)への参加【資料 2-1-04】
- ・大学見学への対応、高校生のための公開セミナーへの参画【資料 2-1-08・資料 2-1-22】

〈文学部英語英米文化学科〉

英語英米文化学科は、以下のように様々な広報活動及び教育内容の充実に努めてきた。また、文学部全体としても、平成29(2017)年度より高校訪問を重視し、令和元(2019)年度までの3年間で、中四国を中心に延べ500校を訪問した。さらに、毎年語学センター主催で行う「英語暗誦コンテスト」には高校生部門もあり、高校生に本学を知ってもらう絶好の機会となっている【資料 2-1-23】。こうした取り組みにより、収容定員充足率において、改善の傾向が認められる。今後一層、このような教育活動の取り組みを受験生にアピールし、入学生の確保に努める。

- ・香川県による補助金を短期海外語学研修旅費の奨学金として給付する制度(平成28(2016)～令和元(2019)年度、以後も継続予定)【資料 2-1-24】
- ・外国人講師による5日間の夏期英語集中セミナー(令和元(2019)年度から継続予定)【資料 2-1-25】
- ・令和元(2019)年度に作成した学科紹介用チラシの広範囲への配布、及び改訂【資料 2-1-26】

〈文学部文化財学科〉

文化財学科では、学生が主体的に学べる環境づくりに努め、教員研究室と同一フロアにPC編集室や資料閲覧室、演習室などを設置した。一方、平成29(2017)年度より文学部全体として高校訪問(四国4県+中国5県+兵庫県など)による学部・学科広報を重要視した。平成29(2017)年度に98校、平成30(2018)年度には167校、令和元

(2019)年度は234校への高校訪問を実施した。文化財学科としても年間数十校の高校訪問により広報を強化してきた。このような取り組みの結果、令和元(2019)年度と令和2(2020)年度の入学者数において2年続けて定員を確保することができ、収容定員充足率は79.1%と改善している。今後とも一層広報活動を強化し、入学生の確保に努める。

- ・教員研究室と同一フロアに学生の演習室を設置(小豆島町の古文書調査資料整理室)
【資料2-1-27】
- ・高等学校への出張講義、学科教員による講演会、高大連携など【資料2-1-07】

〈理工学部ナノ物質工学科〉

ナノ物質工学科では、コース制導入に伴う履修科目の見直しや、学外への学科魅力発信力の強化、柔軟な研究体制の運用に伴う研究力の強化などに取り組み、短期的・中長期的な視点から学生募集に努める。

- ・材料科学及び生命科学各コースの中核科目、共通専門科目を整理したカリキュラム改訂による各コースの教育充実度アップに伴う個々の強い就職力の養成
【資料2-1-28】
- ・学科の魅力発信(学科のHPリニューアルや県内外の農業系高校に対する学科紹介用チラシ配布、産学官連携事業(サイエンスキャンプ、地域連携サポートプロジェクト、出張講義など)、SNS(Twitter, Instagram)の利用)【資料2-1-28~資料2-1-32】
- ・柔軟な研究体制の運用に伴う研究開発力の強化(産学官連携事業(レタス栽培新技術など)や研究チーム制、グループ制の導入)及びマスコミ(新聞、テレビ、コンペ(例:香川テックプランングランプリ)など)を通じた学科のPR【資料2-1-33・資料2-1-34】

5. エビデンス(根拠資料)一覧

基準項目2-1の資料

- 【資料2-1-01】令和2(2020)年度入学試験要項
- 【資料2-1-02】令和元(2019)年度第1回広報担当者会議 議事録
- 【資料2-1-03】令和元(2019)年度高校巡回訪問計画
- 【資料2-1-04】令和元(2019)年度進学説明会等実施結果
- 【資料2-1-05】令和元(2019)年度オープンキャンパス受付票人数(日程別)
- 【資料2-1-06】学科別収容定員充足率の推移表
- 【資料2-1-07】地域連携型出張講義プログラム2019
- 【資料2-1-08】高校生のための公開セミナー2019 チラシ
- 【資料2-1-09】人間生活学科カリキュラム新旧対照表
- 【資料2-1-10】人間生活学科紹介用チラシ
- 【資料2-1-11】人間生活学科のInstagram紹介資料
- 【資料2-1-12】人間生活学科の高大連携に関する新聞記事

- 【資料 2-1-13】 徳島県「Special プロジェクト 2020」体制整備事業成果報告書
(18 ページ)
- 【資料 2-1-14】 メディアデザイン学科ホームページ
(<http://wwwt.bunri-u.ac.jp/human/media/index.php?e=476>)
- 【資料 2-1-15】 音楽学部各種演奏会等チラシ
- 【資料 2-1-16】 徳島市内高等学校の定期演奏会チラシ、プログラム表紙
- 【資料 2-1-17】 高等学校との連携に関する協定書 (地域連携センター保管)
- 【資料 2-1-18】 プレゼンとワークショップで使用したパワーポイントスライド
- 【資料 2-1-19】 音楽学部ホームページ (http://wwwt.bunri-u.ac.jp/ongaku/?_ga=2.135564408.812580233.1584254716-950958842.1576106962)
- 【資料 2-1-20】 音楽学部 SNS ページのスクリーンショット (Facebook と Instagram)
- 【資料 2-1-21】 音楽クリエイター&アーティストコース広報用チラシ
- 【資料 2-1-22】 人間福祉学科の高校生大学見学における模擬授業の様子
- 【資料 2-1-23】 英語暗誦コンテストチラシ
- 【資料 2-1-24】 海外語学研修に対する奨学金給付制度の概要
- 【資料 2-1-25】 夏期英語集中セミナーに関する資料 (オリエンテーション資料)
- 【資料 2-1-26】 英語英米文化学科紹介用チラシ
- 【資料 2-1-27】 小豆島古文書調査に関する資料(写真 1) (写真 2)
- 【資料 2-1-28】 ナノ物質工学科ホームページ(<http://se.bunri-u.ac.jp/nb/>)
- 【資料 2-1-29】 ナノ物質工学科紹介用チラシ
- 【資料 2-1-30】 産学官連携事業 (さぬきサイエンスキャンプ、地域連携サポートプロジェクトなど)
- 【資料 2-1-31】 ナノ物質工学科 Twitter(https://twitter.com/bunri_nano)
- 【資料 2-1-32】 理工学部 Instagram(<https://www.instagram.com/tbu.rikou/>)
- 【資料 2-1-33】 産学官連携事業(レタス栽培新技術など)
- 【資料 2-1-34】 香川テックプラングランプリ資料
(<https://techplanter.com/2019/11/18/2019-11-16-kagawa-grandprix/>)